

## インターネットを安全に使う上での大切な事

### ● ネットで探せた情報だけが真実ではない

料理レシピ大手サイトのクックパッドでも・・・

乳児に与えてはいけない蜂蜜を使った「離乳食レシピ」が登録されている情報が古くても、間違っている、勘違いでも、噂でも、嘘でも・・・

ネットの情報は責任ある誰かが選別して発信されているわけではないため

・ ネット上には両方の人がいる

「嘘をつこうと思って嘘をつく人」、「嘘を信じてしまって広めてしまう人」

・ 子どもを育むのは

保護者（家庭）であり、教員・保健室（学校）であり、社会人（社会・大人）である

### ● 私が子どもたちに指導する時に気を付けていること

・ 理由の無い「禁止」は単なる「約束」になってしまう

・ 「罪」があっても「罰」が無いのはダメ（約束を破っても痛みが無ければ守られない）

・ 繰り返し注意しないと、そのルールは無かったことになる

・ 他のことは混ぜずに、簡潔に叱ること

子どもとの約束事は「守っているかどうかをチェックし続けること」、「破った時のペナルティを行使すること」の2つが難しい。「見守り」と「放置」は違う。保護者として携帯電話・スマートフォンを与えた責任は取らなければならない。

### ● どのようなものでも使いすぎれば依存になる

・ やめられなくなるのは中毒（使わないと自分がイライラする）

・ やめさせてもらえないのは「つながり依存」（使わないと相手に悪い気がする）

「やめられない」という言い訳ではなく「やめなければならない理由」「やめられる方法」を考える。

「子どもを信じている」という保護者が多いが「子どもの判断力」を信じてはいけない。

ネットに依存する子どもも、相談先が保護者の場合は時間が短くなる傾向にある  
そもそも生活習慣が身に付いていない子どもに、時間を使う機器を与えるべきではない

### ● ネットで注意すべき点

・ 写真画像や書き込み時には位置情報が付加される

・ 自分の「楽しい」や「いやだ」という感覚と他の人の「楽しい」や「いやだ」は異なる

・ ネットに出した個人情報はず必ず特定され、拡散・悪用される（技術的に簡単）

・ ネットに出した情報は決して消えない（技術的にも法律的にも）

●トラブルかな？と思ったらすぐ相談（もちろん学校にもして欲しい）

犯罪・・・インターネット安全・安心相談 [警察庁] (<http://www.npa.go.jp/cybersafety/>)

金銭・・・国民生活センター (<http://www.kokusen.go.jp/>)

人権・・・子どもの人権 110 番 [法務省] (<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>)

相談・・・こたエール (<http://www.tokyohelpdesk.jp/>)

画像・・・リベンジポルノ [セーフラインインターネット協会] (<https://www.safe-line.jp/against-rvp/>)

●子供に自信を持たせるには大人からの愛情が必要

愛情とは甘やかすことでも、無条件で助けることでもない。

難しい・怖いと思われるネットに対抗するには、子どもたちの心を強くして自立（自律）させることが大切。失敗して転んでしまったら、起き上がり方、次に転ばないやり方・・・そういうことを考える方法を教える。

●これから保護者として大人としてできること

- ・ネット・情報機器の良い点と悪い点を伝えよう  
偏向はテレビも新聞も同じ。情報を中立に受け取ろう。



- ・「～してはダメ」ではなく「～しよう」で話そう

禁止教育は心に残らない。よい使い方・便利な使い方も積極的に伝えよう。



- ・子どもがどんなふうに使っているか関心を持とう

威圧的に「悪いことしているんじゃないの?」と聞いても答えてはくれない。知らないフリして聴けばいい。

- ・ネット・情報機器の事件を話題にしよう

日々変化するのがネット社会。話題にすることが身を守ることに。



- ・家庭でのルールを作り守っていこう

「守れる」ルールを作って必ず守らせる。

- ・何でも相談できる雰囲気づくりをしよう

何でも相談できる身近な大人の存在が重要。頼ってきてもらえるような態度や雰囲気



以上